

令和3年度 若年技能者人材育成支援等事業
実施状況(令和3年12月31日現在)

大阪府地域技能振興コーナー

(単位:円)

事業項目	実施計画	進捗状況
I 事業費		
1. 地域における技能振興事業		
(1) 技能五輪全国大会の予選の実施等		
① 技能五輪全国大会の予選の実施	<p>多くの企業、教育訓練機関に対して、技能五輪全国大会予選の参加に向けた働きかけを行うことにより、参加者の増加など予選大会の活性化や技能尊重の気運の醸成等を図るため、以下のとおり予選大会を実施する</p> <p>各都道府県職業能力開発協会が独自の選考基準にて推薦する職種のうち、「美容」「洋菓子製造」「西洋料理」「造園」「レストランサービス」の5職種については、技能検定とは別に予選大会として競技を行う</p> <p>【予選参加人員(目標)】</p> <p>(ア)【美容】 第1四半期 4月中旬: 6名程度</p> <p>(イ)【洋菓子製造】 第1四半期 4月下旬: 2名程度</p> <p>(ウ)【西洋料理】 第1四半期 4月下旬: 2名程度</p> <p>(エ)【造園】 第4四半期 2月上旬: 6名程度</p> <p>(オ)【レストランサービス】 第1四半期 4月下旬: 9名程度</p> <p>5職種 25名程度</p>	<p>職種:美容 実施日:令和3年5月6日 会場:グラムール美容専門学校 参加選手:5名 競技委員:2名, 競技補佐:1名</p> <hr/> <p>洋菓子製造の予選については、西洋料理と同一日に実施を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により参加希望者が集まらず中止となりました</p> <hr/> <p>職種:西洋料理 実施日:令和3年5月15日 会場:辻学園調理・製菓専門学校 参加選手:4名 競技委員:3名, 競技補佐:1名</p> <hr/> <p>職種:レストランサービス 実施日:令和3年5月14日 会場:辻学園調理・製菓専門学校 参加選手:2名 競技委員:3名, 競技補佐:1名</p> <hr/> <p>職種:精密機器組立て 実施日:令和3年6月11日 会場:パナソニック㈱ マニファクチャリングイノベーション本部 参加選手:2名 競技委員:2名</p> <hr/> <p>【今後の予定】 職種:造園 実施日:令和4年2月11日 会場:大阪府立園芸高等学校 参加選手:6名 競技委員:2名, 競技補佐:6名</p>
② 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施	<p>技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加を促進するため、「大阪府選手」のうち中小企業・教育訓練機関等に所属する参加選手とその指導者等の旅費と工具等運搬費(選手のみ)の支援を行い、中小企業等の大会への参加を促進する</p> <p>【支援予想人員】</p> <p>(ア) 技能五輪全国大会 第3四半期 12月中旬: 20名程度</p> <p>(イ) 若年者ものづくり競技大会 第2四半期 8月上旬: 10名程度</p> <p>(技能五輪全国大会、並びに若年者ものづくり競技大会の前回参加実績等から類推)</p>	<p>大会名:第59回技能五輪全国大会 開催日:令和3年12月17日 ~令和3年12月20日 会場:東京ビッグサイト 他 参加者:21職種:54名 支援者:選手21名/指導者等10名 入賞者:銀賞 3職種:4名 銅賞 2職種:5名 敢闘賞 4職種:6名 計 7職種:15名 選手団賞:全国技能士会連合会 会長賞</p> <hr/> <p>大会名:第16回若年者ものづくり競技大会 開催日:令和3年8月4日, 5日 会場:愛媛県国際貿易センター 他 参加者:2職種:4名 支援者:選手4名 入賞者:銀賞 1職種:1名 計 1職種:1名</p>

事業項目	実施計画	進捗状況
(2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組み		
① ものづくりマイスター、ITマスター及びそれ以外の熟練技能者の活用		
(7) 「おおさかもものづくりコレクション2021」の開催	<p>身のまわりにある製品の製造に携わる人たちの技能について広く府民の方たちに紹介し、技能尊重気運の醸成や技能者の社会的地位の向上を図るとともに、若年層のものづくり離れなどの課題に対応するため、ものづくり教室及び生徒・技能士等の作品コンクール並びに技能者の実演等を実施し、ものづくりへの関心を高めるとともに身近に体感していただきます</p> <p>さらに、技能習得施設、技能評価制度、優秀な技能者等を表彰する表彰制度を紹介するなど将来のものづくり産業に従事する人材の裾野拡大につなげることを目的に「おおさかもものづくりコレクション2021」を開催し、府民生活の豊かさの実現に寄与するものです</p> <p>テーマ：「技能者の裾野拡大に向けて(仮称)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟練技能者による製作実演、ものづくり体験教室 ・教室数：20教室／受講者400名 ・熟練技能者による製作実演 ・職業訓練校生徒によるファッションショー等 ・職業訓練校生徒による作品コンクール <p>【受講者数】 約480名 【来場者数(目標)】 約600名 【開催時期】 第2四半期 7月</p> <p>※新型コロナウイルス感染防止のため、ものづくり体験教室は事前予約制とします ファッションショーは無観客でネットでライブ配信します 参加者には事前の体調チェック、検温、マスクの着用、手指消毒等の感染防止対策を実施します</p>	<p>開催日：令和3年10月17日 会場：サンライズビル大阪 内容：熟練技能者による「ものづくり体験教室」 技能士による実演、訓練校生徒によるファッションショー 訓練校生徒の作品コンクール ものづくり団体の紹介・展示</p> <p>教室数：18教室 受講者：324名</p> <p>※予定していた会場が新型コロナウイルスの大規模接種会場となったため、会場を変更して実施 このため、体験教室は4回から3回に回数を減じたため受講者数が少なくなった</p>
(4) 「ものづくり体験教室」の開催	<p>大阪府内市町村教育委員会等とも連携し、府内の小中学校へ働きかけを行い、技能士・熟練技能者等を派遣して、児童・生徒に対し「技能」の魅力や「技能」の素晴らしさを実感してもらうための「ものづくり体験教室」を開催します</p> <p>本事業はものづくりに対する興味・関心を高めるため、身のまわりにある製品の製造に携わる人たちの技能について紹介し、技能尊重気運の醸成を図るとともに、児童・生徒自らが作品を製作し、完成することによってものづくりの感動を体感していただくものです</p> <p>このことにより、若年層のものづくり離れなどの課題に対応し、将来のものづくり産業に従事する人材の裾野拡大に寄与することを目的に開催します 特に、中学校の生徒に対しては、職業体験教育の一環としても位置付け、「ものづくり」の意義と将来の進路選択の一助となることを目的とします</p> <p>【参加対象(目標)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：40名/校 ・学校数：5校(小中学校) ・受講者数：約200名 ・開催時期：第2四半期 7月から第4四半期 2月までの間で開催予定 	<p>実施日：令和3年11月4日 実施校：大阪市立宮原中学校 職種：フラワー装飾 他1職種 熟練技能者：2名、補助者：4名 ものづくり体験：生徒(1年生)：25名</p> <p>実施日：令和3年11月18日 実施校：大阪市立市岡中学校 職種：フラワー装飾 他2職種 熟練技能者：3名、補助者：7名 ものづくり体験：生徒(1年生)：42名 ※講義・製作実演が終了し、体験教室の実施途中で 学校側から生徒に新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の疑いがあるとの連絡が入りその時点で中止となった</p> <p>【今後の予定】 実施日：令和4年 1月19日 実施校：東大阪市立義務教育学校 池島学園 職種：フラワー装飾 他2職種 熟練技能者：3名、補助者：4名 ものづくり体験：生徒(8年生)：23名</p> <p>実施日：令和4年 2月10日 実施校：大阪市立長吉中学校 職種：家具製作 熟練技能者：1名、補助者： 名 ものづくり体験：生徒(1年生)： 名</p> <p>実施日：令和4年 2月18日 実施校：大阪市立昭和中学校 職種：家具製作 熟練技能者：1名、補助者： 名 ものづくり体験：生徒(2年生)： 名</p> <p>実施日：令和4年 3月 2日 実施校：大阪市立東生野中学校 職種：フラワー装飾 他2職種 熟練技能者：3名、補助者： 名 ものづくり体験：生徒(1,2年生)： 名</p>
(4) 熟練技能者による技能講習の開催	<p>ものづくりマイスターの認定職種以外で生徒等を対象に熟練技能者が実技指導し、受講者がその高度な技能を習得することにより、一般の授業では行わない「ものづくり」の魅力を感じ、教員においては教科指導等に役立てていただくとともに、生徒の技能の向上に繋げるものです</p> <p>なお、ものづくりマイスターの認定職種で教員が技能検定に受検する希望がある場合には、ものづくりマイスターの実技指導として対応します</p> <p>【指導職種】フラワー装飾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者数：約15名/コース ・期間：3時間/日 5日 ・学校数：1校(4コース) 	<p>実施日：令和3年5月12日 ～令和3年7月8日の間の10日 実施校：大阪府立園芸高等学校 職種：フラワー装飾(2級技能コース) 熟練技能者：1名 受講者：7名(3年生6名、教員1名)</p> <p>実施日：令和3年 5月12日 ～令和3年 7月12日の間の10日 実施校：大阪府立園芸高等学校 職種：フラワー装飾(3級技能コース) 熟練技能者：3名 受講者：12名(2年生12名)</p> <p>実施日：令和3年11月24日 ～令和4年 2月 8日の間の4日 実施校：大阪府立園芸高等学校 職種：フラワー装飾(ハッピコース) 熟練技能者：7名 受講者：19名(1年生19名)</p>

事業項目	実施計画	進捗状況
② 技能競技大会展の実施	<p>国が行う技能競技大会の実施内容（競技職種・実技内容等）、技能五輪国際大会と技能五輪全国大会の関係、技能五輪全国大会の開催予定を広く周知するとともに、技能競技大会のデモンストラーション、競技課題による製作物、パネル等の展示を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> 規模：100～200名程度/回 2回 開催時期：中央技能振興センターと調整の上、決定 開催場所：地域ブロック開催府県(未定) 	<p>中央技能振興センターが技のとびら 技能競技大会展・技能士展を2021.9.1～2022.3.31までオンラインイベント開催中</p> <p>大阪府での実施はありません</p>
③ 技能士展の実施	<p>技能士制度の普及・促進を図るため、技能検定制度、技能試験、技能士会、技能士と社会の関わり、技能士になることのメリット、技能士が企業にいることによる企業のメリット等を広く広報するとともに、技能士による製品・作品、パネル等の展示を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> 規模：100～200名程度/回 2回 開催時期：中央技能振興センターと調整の上、決定 開催場所：地域ブロック開催府県(未定) 	<p>中央技能振興センターが技のとびら 技能競技大会展・技能士展を2021.9.1～2022.3.31までオンラインイベント開催中</p> <p>大阪府での実施はありません</p>
④ 技能五輪全国大会等を活用した技能の理解促進	<p>技能五輪全国大会等の競技大会を高校生以上の学校関係者(生徒含む)や職種関係者等に観覧してもらい、「技能五輪全国大会」等の意義をPRするとともに、「ものづくり」に対する意識啓発、技能尊重気運の高揚を目的として技能の重要性等の理解を促進する</p> <p>技能五輪全国大会が東京都、若年者ものづくり競技大会が愛媛県で実施予定のため提案なし</p>	<p>技能五輪全国大会が東京都、若年者ものづくり競技大会が愛媛県で開催のため大阪府では実施いたしません</p>
⑤ 「地域発！いいもの」応募事業の実施	<p>「地域発！いいもの」応援のため、「地域発！いいもの」の募集に係る周知、応援書類の受付・チェック、センターへの応募書類の送付、センターからの結果通知について応募者への送付などの業務を行います</p>	<p>周知・広報を行っていますが、現在のところ問合せ等はありません。今後も継続して広報を行っていきます</p>
⑥ グッドスキルマーク事業の実施	<p>グッドスキルマーク事業の促進のため、グッドスキルマークの募集に係る周知、応援書類の受付・チェックを行い、取りまとめたうえ、センターからの結果通知について応募者への送付などの業務を行います</p>	<p>【上半期】に「キャンプ用品」で1件認定申請をいたしました また現在【下半期】に「指物家具」で1件認定申請をいたしております</p>
⑦ 卓越した技能者(現代の名工)の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援	<p>社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、青少年が技能労働者の道に入職することを促進するため、令和2年度及び令和3年度の卓越した技能者表彰の被表彰者を紹介するコンテンツの作成支援をセンターと連携して行います</p>	<p>令和2年度 卓越した技能者表彰の被表彰者6名についてデータの取りまとめをし、紹介コンテンツ掲載中 また現在、令和3年度の被表彰者6名について中央技能振興センターからのデータ入力シートをメールで送信のうえ記入を依頼中 取りまとめの上、中央技能振興センターへ取次ぎをします</p>
2. ものづくりマイスター等の認定、登録に関する業務		
(1) ものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスターの候補者に係る開拓について		
<p>ものづくりマイスターの制度周知と認定機関への取次等</p>	<p>ものづくりマイスター制度の周知とものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスター候補者に係る情報収集等掘り起こしを行います また、対象業種の企業や学校関係等に対し広報を行うとともに、認定申請者と面談指導等を行い申請に係る認定機関への取次等を行う</p> <p>ものづくりマイスター認定数：目標20名 ITマスター 認定数：目標 5名 テックマイスター 認定数：目標 2名</p>	<p>本年度12月末(第1回～第4回認定)まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくりマイスター 14職種/21名が認定 累計 57職種/認定実人数 367名 認定延べ人数 427名 ITマスター 1職種/2名が認定 累計 4職種/認定実人数 9名 認定延べ人数 18名 テックマイスター 2名が認定 累計 4職種/認定実人数 9名 認定延べ人数 18名 <p>今後の申請予定(第5回認定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくりマイスター R4.2.8審査会に1名認定申請 ITマスター及びテックマイスター 申請なし
<p>(2) ものづくりマイスター等への説明</p>	<p>認定を受けたものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスターに実技指導等に当たる前に指導技法等講習を受講する必要がある旨(免除基準に該当する者を除く)を周知します また、認定書交付時、または平成30年度以前から登録している者が初めて実技指導を開始する直前に、コーナーの指示に基づいて活動する際の条件等について、文書により通知し説明を行います なお、過去3年間に一度も活動実績のないものづくりマイスターに対して、引き続きものづくりマイスターとして活動する意思があるか否かを確認し、意思がある場合には、最新の指導技法等に係る講習(最新版のテキストや事例集等の情報提供)を行います</p>	<p>指導技法等講習 北山氏(中央技能振興センター研修会修了者)を講師として、個人情報保護、各種ハラスメント(セクハラ・パワハラ等)、指導技法等のポイントについて認定者に講習</p> <p>【本年度12月末までに4名が受講】 第1回(R3. 8.18)/受講者4人</p> <p>【今後の予定】 第2回(R4.2)に開催予定</p>

事業項目	実施計画	進捗状況
(3) 申請書類等の取りまとめ	ものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスターの認定申請書の受理業務を行い、申請書類を取りまとめて中央技能振興センターに提出します	上記(1)のものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスターの候補者に係る開拓についてのとおり
(4) ものづくりマイスター等に対する研修	<p>新たに認定されたものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスターに対して、実技指導の結果報告の作成方法等事務を含む指導技法等講習を実施します</p> <p>中央技能振興センターが実施する指導技法等講習の講師に対する研修に、積極的に講師となるものを推薦します</p> <p>なお、地域若者サポートステーションでのものづくりの魅力発信の実施に関しては、派遣者に対して、平成27年度の成果物（指導技法ガイドブック等）を活用してサポートステーションの目的、受講者の特性に応じた指導方法等について、派遣前研修を実施します</p>	<p>ものづくりマイスターの指導技法講習 講師向け養成研修会 開催日：令和3年11月12日 開催方法：Zoomを利用したオンライン研修会 内容：指導者の役割と必要な能力等 出席者：ものづくりマイスター1名 コーナー職員1名</p> <p>【今後の予定】 ものづくりマイスター職種別 事例発表・意見交換会 開催日：令和4年2月16日 開催方法：Zoomを利用したオンライン交換会 内容：事例発表及び意見交換 出席者：造園職種ものづくりマイスター1名</p>
3. ものづくりマイスター等の活用に係る業務		
(1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助等		
若年技能者の人材育成に係る相談・援助	若年技能者の人材育成に関するニーズの把握・相談を受け、ものづくりマイスター派遣要請のあった企業・教育訓練機関等に実技指導のコーディネートを行う	下記(2)のものづくりマイスター等の派遣による指導の実施のとおり
(2) ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施		
実技指導について相談・要請のあった企業・教育訓練機関等にものづくりマイスターを派遣し、指導計画等の事前調整をしたのち実技指導を行う	<p>【活動目標】 ものづくりマイスターの活動数 4,155人日 ITマスターの活動数 70人日 テックマイスターの活動数 70人日</p> <p>例) 1人のマイスター等が3人の受講者に対して 10日間指導した場合は、1人×3人×10日=30人日</p>	<p>【本年度12月末までの活動数】 実技指導(ものマイ) 2,491人日 実技指導(ITマスター) 27人日 実技指導(テックマイスター) 20人日 小計 2,538人日 目指せマイスタープロジェクト 小計 282人日 合計 2,820人日 ①</p> <hr/> <p>【1月以降の予定】 実技指導(ものマイ) 589人日 実技指導(ITマスター) 0人日 実技指導(テックマイスター) 0人日 小計 589人日 目指せマイスタープロジェクト 小計 358人日 合計 947人日 ②</p> <p>①+② 3,767人日</p>
(7) 中小企業・業界団体等へものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスターを派遣して技能競技大会の競技課題又は技能検定試験の実技課題等をベースにした実技指導	<p>【指導対象(目標)】 ・受講者数：約2~3名/社 ・期間：3時間/日 20日間 ・企業数：中小企業 約15社</p> <p>【延べ日数(人日)】 ものづくりマイスターの活動数 1名×3名×20日×15社 約900人日</p>	<p>【本年度12月末までの活動数】 延べ24社/702人日(ものマイ) 延べ1社/20人日(テックマイスター)</p> <p>【1月以降の予定】 延べ8社/74人日(ものマイ)</p> <p>計 延べ26社/796人日</p>
(4) 職業高校等へものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスターを派遣して技能競技大会の競技課題又は技能検定試験の実技課題等をベースにした実技指導	<p>【指導対象(目標)】 ・受講者数：約10名/コース ・期間：3時間/日 10日間 ・コース数：約25コース(校,系,作業別)</p> <p>【延べ日数(人日)】 ものづくりマイスター等の活動数 1名×10名×10日×25コース 約2,500人日</p>	<p>【本年度12月末までの活動数】 延べ48校/1,789人日(ものマイ)</p> <p>【1月以降の予定】 延べ20校/515人日(ものマイ)</p> <p>計 延べ50校/2,304人日</p>
(7) 職業高校等へものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスターを派遣して技能競技大会の競技課題又は技能検定試験の実技課題等をベースにした「実技デモンストレーション」及び「体験授業」	<p>【指導対象(目標)】 ・受講者数：約40名/クラス ・期間：3時間/日 1日 ・学校数：約3校</p> <p>【延べ日数(人日)】 ものづくりマイスターの活動数 1人×40名×1日×3校 約120人日</p>	<p>【本年度12月末までの活動数】 延べ1校/27人日(IT)</p> <p>【1月以降の予定】 現時点では関係機関からの要請はありません</p> <p>計 延べ1校/27人日</p>

事業項目	実施計画	進捗状況
(3) 「目指せマイスター」プロジェクト		
① 「ものづくりの魅力」発信		
(7) 学校の授業等への講師派遣 (児童・生徒を対象)	【指導対象(目標)】 ・受講者数：約100名/校 ・期 間：2時間/日 1日 ・学 校 数：約6校 ・講 師：ものづくりマイスター 【延べ日数(人日)】 ものづくりマイスターの活動数 1名×100名×1日×6校 約600人日	【本年度12月末までの活動数】 延べ2校/282人日 【1月以降の予定】 延べ4校/358人日 計 延べ6校/640人日
(4) 学校の教師、児童・生徒の保護者等を対象とした「ものづくりの魅力」発信講座等への講師派遣	【指導対象(目標)】 ・受講者数：教師・保護者約5名/校 ・期 間：2時間/日 1日 ・学 校 数：約6校 ・講 師：ものづくりマイスター 【延べ日数(人日)】 ものづくりマイスターの活動数 1名×5名×1日×6校 約30人日	実施に向けて学校へ働きかけをしていますが、現在のところ実施要請はありません
② 「ITの魅力」発信		
(7) 学校の授業等への講師派遣 (児童・生徒を対象)	【指導対象(目標)】 ・受講者数：約35名/クラス ・期 間：3時間/日 1日 ・学 校 数：約2校 ・講 師：ITマスター 【延べ日数(人日)】 ITマスターの活動数 1名×35名×1日×2校 約70人日	実施に向けて学校へ働きかけをしていますが、現在のところ実施要請はありません
③ その他、若者に対する「ものづくりの魅力」発信		
(7) 地域若者サポートステーション事業の支援対象者に対する「ものづくりの魅力」発信	【指導対象(目標)】 ・受講者数：約3～5名/機関 ・期 間：2時間/日 1日 ・機 関 数：約1機関 ・講 師：ものづくりマイスター 【延べ日数(人日)】 ものづくりマイスターの活動数 1名×5名×1日×1機関 約5人日	【今後の予定】 実 施 日：令和4年 3月 3日 実施場所：大阪府地域若者サポートステーション 講 師：ITマスター
4. 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営		
(1) 連携会議の設置		
① 連携会議の設置	<p>大阪府・経済団体・労働局等をメンバーとした地域技能振興コーナー(技能振興課)主催の連絡会議を設置し、メンバーの意見を取り入れ、推進計画や実施計画の策定、地域の産業特性や就業構造を踏まえた技能振興の取組や事業実施に当たっての連携・協力の在り方の検討、並びに事業の進捗管理を実施します</p> <p>連携会議の開催回数 連携会議は年2回開催し、年度当初に実施計画書を踏まえた、ものづくりマイスター等の派遣や技能振興の取組、事業実施に当たっての連携・協力の在り方の決定、年末に当年度の実施状況等の報告を行い、とりまとめ後、センターに速やかに報告します</p>	<p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から参集を避け書面会議とした 開催方法：会議資料配布による開催 議 題：令和2年度 若年技能者人材育成支援等事業実施結果について 令和3年度 若年技能者人材育成支援等事業実施計画(推進計画)について</p> <p>開催日：令和4年2月2日 会 場：エル・おおさか本館 議 題：令和3年度 若年技能者人材育成支援等事業事業実施状況及び次年度に向けた改善事項等について</p>
5. 全国斉一的な事業展開		
(1) 全国会議等の開催によるセンターとコーナー間の連携の強化等		
① 全国会議の開催等によるセンターとコーナー間の連携の強化等	<p>センターが主催する都道府県コーナー職員が一堂に会する全国会議やブロック会議の開催などにより、本事業の円滑な業務指導の実施、業務調整等を図り全国斉一的な事業展開ができるよう対応します</p>	<p>※新型コロナウイルス感染拡大の状況等から昨年同様参集方式を避け、会議資料配付によるWeb会議(Zoom)</p> <p>【全国会議】 開 催 日：令和3年4月30日 開催方法：会議資料配布による開催 内 容：令和3年度 事業実施に係る留意事項等(厚生労働省)令和3年度 事業実施に関する情報提供(中央技能振興センター)</p> <p>※全国の新型コロナウイルス感染状況から参集方式を控え、会議資料配付によるWeb会議(Zoom)</p> <p>【コーナー職員会議】 開 催 日：令和3年11月2日 開催方法：会議資料配布による開催 内 容：令和3年度の事業進捗状況について令和3年度の地域技能振興コーナー事業について(意見交換等)</p>